



海軍公報 第五〇五〇號

昭和二十年六月二十三日(土) 海軍大臣官印

〇令 達

達第二二二號ノ二

海軍人事部處務規程中左ノ通改正ス

昭和二十年六月一日

海軍大臣

主計

第一條第一課ノ部中第九號及第十號ヲ削リ第十一號ヲ第十三號ニシ以下順次繰下テ第八號ヲ左ノ如ク改ム

給與

八 囑託ニ關スルコト  
九 軍事普及ニ關スルコト  
十 軍事關係諸團體(在郷軍人會及軍事扶助團體ヲ除ク)ノ指導ニ關スルコト

調査

十一 部外諸學校ノ軍事教習ニ關スルコト  
十二 海軍ニ關スル部外一般ノ教育練成ニ關スルコト  
同條第三課ノ部ヲ左ノ如ク改ム  
第三課

- 一 勤勞ノ需給調整ニ關スルコト
- 二 國家總動員法ニ依ル徵用ニ關スルコト
- 三 勤勞者ノ教育、能率増進、思想善導、取締、表彰、救恤及福祉ニ關スルコト
- 四 勤勞組織ニ關スルコト

海軍公報 第五〇五〇號 昭和二十年六月二十三日

- 五 勤勞條件ニ關スルコト
  - 六 工場衛生及國民體力検査ニ關スルコト
  - 七 其ノ他勤勞一般ニ關スルコト
  - 八 雇員傭人ニ關スルコト
  - 九 前各號ノ諸報告及統計ニ關スルコト
- 第二條ノ二 大湊及大阪海軍人事部ノ事務細則左ノ如シ
- 一 海軍兵ノ徵募ニ關スルコト
  - 二 特務士官、准士官、下士官及兵ノ召集ニ關スルコト
  - 三 簡閱點呼ニ關スルコト
  - 四 在郷軍人及在郷軍人會ニ關スルコト
  - 五 高等文官ノ身上其ノ他人事ノ取扱ニ關スルコト
  - 六 判任文官及同待遇者ノ命課、増俸、履歴書、考課表、敘位、敘勳、褒賞、恩給、賜金、賞與其ノ他身上ニ關スルコト
  - 七 傷疾疾病ニ因リ兵役ヲ免ゼラレタル者及職公傷病死者ノ遺族ニ關スルコト
  - 八 軍事扶助及軍事扶助團體ニ關スルコト
  - 九 部外者ノ軍事功勞者表彰ニ關スルコト
  - 十 軍事普及ニ關スルコト
  - 十一 部外諸學校ノ軍事教習ニ關スルコト

佐二國給與 20.7.2. 授受

- 十二 海軍ニ關スル部外一般ノ教育鍊成ニ關スルコト
  - 十三 雇員、傭人及囑託ニ關スルコト
  - 十四 國家總動員法ニ依ル徵用ニ關スルコト
  - 十五 勤勞者ノ教育、能率増進、思想善導、取締、表彰、救恤及福祉ニ關スルコト
  - 十六 勤勞組織ニ關スルコト
  - 十七 勤勞條件ニ關スルコト
  - 十八 工場衛生及國民體力検査ニ關スルコト
  - 十九 其ノ他勤勞一般ニ關スルコト
  - 二十 前各號ノ諸報告及統計ニ關スルコト
- 第三條 地方海軍人事務ノ事務ノ細則左ノ如シ
- 一 海軍兵ノ徵募ニ關スルコト
  - 二 特務士官、准士官、下士官及兵ノ召集ニ關スルコト
  - 三 簡閱點呼ニ關スルコト
  - 四 在郷軍人及在郷軍人會ニ關スルコト
  - 五 傷痍疾病ニ因リ兵役ヲ免セラレタル者及戰公傷病死者ノ遺族ニ關スルコト
  - 六 軍事扶助及軍事扶助團體ニ關スルコト
  - 七 部外者ノ軍事功勞者表彰ニ關スルコト
  - 八 軍事普及ニ關スルコト
  - 九 部外諸學校ノ軍事教育ニ關スルコト
  - 十 海軍ニ關スル部外一般ノ教育鍊成ニ關スルコト
  - 十一 國家總動員法ニ依ル徵用ニ關スルコト

- 十二 勤勞者ノ教育、能率増進、思想善導、取締、表彰、救恤及福祉ニ關スルコト
  - 十三 勤勞組織ニ關スルコト
  - 十四 勤勞條件ニ關スルコト
  - 十五 工場衛生及國民體力検査ニ關スルコト
  - 十六 其ノ他勤勞一般ニ關スルコト
  - 十七 前各號ノ諸報告及統計ニ關スルコト
- 第十條第一項第八號中「兵履歴簿」ヲ「兵履歴原表」ニ改メ同項第十二號ヲ左ノ如ク改ム
- 十二 豫備准士官（豫備准士官ニ任用スベキ豫備員候補者ヲ含ム以下同ジ）履歴簿及豫備下士官、兵（豫備下士官又ハ兵ニ任用又ハ採用スベキ豫備員候補者ヲ含ム以下同ジ）履歴原表
- 同條第二項中「准士官以下ノ豫備員又ハ豫備員候補者」ヲ「豫備准士官」ニ、「下士官兵」ノ下ニ「豫備下士官、兵」ヲ加フ別表中「下士官兵履歴原表」ヲ「下士官、兵（豫備下士官、兵）履歴原表」ニ改ム
- （諸例則卷一、一六一頁参照）
- 内令第五二五號
- 右本籍ヲ舞鶴鎮守府卜定ム
- 昭和二十年六月七日
- 第八十四號哨戒特務艇
- 海軍大臣

内令第五一六號  
昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス  
昭和二十年六月七日

高雄海軍警備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

海軍大臣

新潟港海軍警備隊	第八十四號(舞)			
----------	----------	--	--	--

(内令提要卷三、四八ノ一九頁参照)

内令第五一七號

波號第二百十三潛水艦  
波號第二百十四潛水艦  
右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

波號第二百十五潛水艦  
波號第二百十六潛水艦  
波號第二百十七潛水艦  
右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

波號第二百十一潛水艦  
波號第二百十二潛水艦  
波號第二百二十潛水艦  
右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス

波號第二百二十一潛水艦  
波號第二百二十二潛水艦  
波號第二百二十三潛水艦  
右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス  
昭和二十年六月七日

海軍大臣

内令第五一八號

昭和十七年内令第一七三三號海軍衣糧廠ノ支廠ヲ置ク地等ノ件  
中左ノ通改正ス  
昭和二十年六月七日

海軍大臣

神奈川縣藤澤市ノ項ノ前ニ左ノ如ク加フ

北海道札幌市 第一海軍衣糧廠 所在地方面ニ於ケル衣糧資源ノ  
札幌支廠 開發及確保ニ關スル事項

(内令提要卷一、三〇ノ三四ノ五頁参照)

内令第五一九號  
艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス  
昭和二十年六月七日

海軍大臣

潛水艦、二等波二百一型ノ項中「波號第二百十一」ノ下ニ「波號第二百十一、波號第二百十二、波號第二百十三、波號第二百十四、波號第二百十五、波號第二百十六、波號第二百十七、波

海軍公報 第五〇五〇號 昭和二十年六月二十三日

六九二

號第二百二十、波號第二百二十一、波號第二百二十二、波號第二百二十三」ヲ加フ  
輸送艦、二等第百一號型ノ項中「第百五十三號」ノ下ニ「第百六十四號、第百六十五號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

官房軍機密第六〇七號

連山委員會規程ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年六月二十二日

海軍大臣

(内令提要卷一、三〇ノ五二ノ一三頁参照)

○通 牒

官房機密第一三四號ノ三一

昭和二十年六月一日

海軍省副官

關係各廳長殿

暗號圖書配付ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ特令セラルルモノヲ除キ別冊暗號圖書現狀表第五三號ニ依リ處理相成度

迫テ別冊ハ暗號圖書供給應ヨリ左ノ各部ニ配付ス配付殘部アリタル時ハ請求ニ依リ暗號圖書受給應ニ適宜配付差支ナキコトニ定メラル

各司司令部、各軍需部、同支部、各通信隊、各通信學校、同分校

○難 款

○廳舎移轉

東海海軍監督官事務所富山出張所(舊小松分室)

石川縣廳内

六月五日

記

事

船舶救難本部

東京都世田谷區松原町四丁目二七番地東京都光明國民學校内

六月八日

舊廳舎(丸ノ内三袋仲二號館四階)ハ船舶救難本部ノ内分室ト呼稱シ各部トノ連絡事務所ニ充ツ  
旅行順路所ニ充ツ  
東京急行小田原線梅ヶ丘  
郵便物發送先  
從來物發送先

伏木在勤海軍武官府

高岡市伏木湊町日本海運報國團新報支團伏木支團階上

六月二日

電話伏木 四三三番  
郵便物發送先  
上記ノ場所

○本日海軍公報發行セズ

○本日軍機秘海軍公報第一五二號(甲配付)發行セリ



海軍公報 第五〇五一號

昭和二十年六月二十四日(日) 海軍大臣官房

○告示

海軍省告示第一號ノ一三  
各鎮守府及各整備府ニ臨時軍法會議ヲ置ク  
昭和二十年六月十五日  
海軍大臣

○令 達

内令第五二〇號  
波號第二百十潛水艦  
右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル  
昭和二十年六月七日  
海軍大臣

内令第五二二號  
驅逐隊編制中左ノ通改定セラル  
昭和二十年六月十日  
第十七驅逐隊ノ項中「潑風、」ヲ削ル  
海軍大臣  
(内令提要卷一、六八頁參照)

秘海軍公報 第五〇五一號 昭和二十年六月二十四日

内令第五二三號

潛水隊編制中左ノ通改定セラル  
昭和二十年六月十日  
海軍大臣

第十五潛水隊ノ項中「伊號第四十四、」及「伊號第五十六、」ヲ削ル  
第三十四潛水隊ノ項中「呂號第四十六、」及「呂號第百九」ヲ削ル  
(内令提要卷一、七〇頁參照)

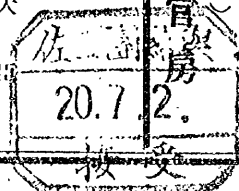
内令第五二三號

輸送隊編制中左ノ通改定セラル  
昭和二十年六月十日  
海軍大臣

第二輸送隊ノ項中「第十三號」ノ上ニ「第九號、第十一號、」ヲ加フ  
(内令提要卷一、七四頁參照)

内令第五二四號

吳鎮守府在籍  
六九三ノ



<p>右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル 驅逐艦 濱 風</p>	<p>横須賀鎮守府在籍</p>	<p>伊號第四十四潜水艦</p>	<p>吳鎮守府在籍</p>	<p>伊號第五十六潜水艦</p>	<p>佐世保鎮守府在籍</p>	<p>呂號第九潜水艦</p>	<p>舞鶴鎮守府在籍</p>	<p>呂號第四十六潜水艦</p>	<p>右帝國潜水艦籍ヨリ除カル</p>	<p>吳鎮守府在籍</p>	<p>第三十四號掃海艇</p>	<p>右帝國掃海艇籍ヨリ除カル</p>	<p>昭和二十年六月十日</p>	<p>海軍大臣</p>						
<p>内令第五二五號</p>	<p>横須賀鎮守府豫備驅逐艦</p>	<p>驅逐艦 潮</p>	<p>右第四豫備驅逐艦ト定ム</p>	<p>昭和二十年六月十日</p>	<p>海軍大臣</p>															
<p>内令第五二六號</p>	<p>汽船 金鈴丸</p>	<p>同 榮邦丸</p>	<p>右特設運送船(給油船)トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p>	<p>同 太隆丸</p>	<p>右特設運送船(雜用船)トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p>	<p>同 辰和丸</p>	<p>同 長和丸</p>	<p>右特設運送船(雜用船)トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p>	<p>昭和二十年六月十日</p>	<p>海軍大臣</p>										
<p>内令第五二七號</p>	<p>海軍大臣</p>	<p>昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス</p>	<p>昭和二十年六月十日</p>	<p>女川防備隊ノ項ノ次ニ二項ヲ加フ</p>	<table border="1"> <tr> <td>吳防備隊</td> <td>第百六十七號</td> <td>吳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第百七十五號</td> <td>吳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第百八十七號</td> <td>吳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第百九十七號</td> <td>吳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第百二十七號</td> <td>吳</td> </tr> </table>	吳防備隊	第百六十七號	吳		第百七十五號	吳		第百八十七號	吳		第百九十七號	吳		第百二十七號	吳
吳防備隊	第百六十七號	吳																		
	第百七十五號	吳																		
	第百八十七號	吳																		
	第百九十七號	吳																		
	第百二十七號	吳																		

徳山防備隊  
 第百六十四號(吳)  
 第百七十四號(吳)  
 第百七十五號(吳)  
 第百七十六號(吳)

佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第百六十四號(吳)」、「第百六十七號(吳)」、「第百七十四號(吳)」、「第百七十五號(吳)」、「第百七十七號(吳)」及「第百二十五號(吳)」、「第百二十二號(吳)」、「第百二十六號(吳)」、「第百二十七號(吳)」ヲ削ル

(内令提要卷三、四八ノ一九頁参照)

内令第五三八號

昭和十八年内令第二五六號別表中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣

吳海軍警備隊ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

吳防備隊	第十三號金徳丸(吳)
	第三號日之出丸(吳)
	第五日之出丸(吳)
徳山防備隊	第一號新平丸(吳)

佐伯防備隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「第十三號金徳丸(吳)」、「第一號新平丸(吳)」及「第三號日之出丸(吳)」、「第五日之出丸(吳)」ヲ削ル

(内令提要卷三、四八ノ二九頁参照)

○感 状

秘海軍公報 第五〇五一號 昭和二十年六月二十四日

感 状

第三〇二海軍航空隊

昭和十九年三月一日開隊以來横須賀鎮守府直屬航空隊トシテ横須賀軍港其ノ他要地ノ直接防空ニ任ジ「マリワナ」基地ヨリスル敵大型機ノ來襲ニ備ヘ戰闘即應ノ態勢ヲ以テ銳意戰備強化ト戦力ノ錬成ニ努メツツアリシ處同年八月在支米空軍ノ北九州ニ來襲スルヤ大村ニ派遣中ナリシ戰闘機ヲ以テ之ヲ邀撃シ敵B29五機撃墜破ノ戦果ヲ收メ次デ同年十一月以來「マリワナ」基地ヨリスル敵B29ノ反覆來襲竝ニ敵機動部隊艦上機來襲ニ際シテハ之ヲ關東或ハ東海方面ニ邀撃シ隊員一同旺盛ナル攻撃精神ト卓絶セル技術トヲ以テ勇戰敢闘昭和二十年二月二十五日迄ニ擊墜B29三十五機FG1九機、擊破B29六十六機以上FG1三機撃墜破合計一二三機以上ノ赫々タル戦果ヲ擧ゲ皇土防空作戦ニ寄與スルトコロ極メテ大ニシテ其ノ武勳顯著ナリト認ム

仍テ茲ニ感状ヲ授與ス

昭和二十年三月一日

横須賀鎮守府司令長官 塚原二四三

○雜 談

○鎮海方面ニ對スル家族移轉ノ件

當鎮守府要員ノ増大ニ伴ヒ海軍住宅ハ勿論邑内民家ニ於ケル貸家貸間等皆無ノ狀況ニ付自今當方面ヘノ轉勤新規採用者等ハ居

六九五

住家屋決定前家族ヲ轉住セシムル等ノコトナキ採取計相成度

(鎮海警備府)

○廳舎、部隊移轉

總令、部隊名	移轉先	移轉月日	記	事
船岡警戒部大阪支隊	大阪市東住吉區日一八番地	六月八日		
北東海軍航空隊	北海道千歳郡千歳町(北東海軍航空隊第一千歳基地)	六月二〇日		

○事務開始

事務所名	設置場所	事務開始月日	記	事
特設海軍燃料廠補給部秋田出張所	秋田縣秋田市大町三丁目秋田銀行秋田支店內	四月二〇日	電話 二九五二番	
同 酒田出張所	山形縣酒田市内町三五番地	同	二一〇番	
同 柏崎出張所	新潟縣柏崎市本町五丁目三七四番地	同	三三三番	
山陰海軍航空隊	鳥取縣西伯郡大篠津村美保航空基地内	五月二〇日	郵便物發送先 鳥取縣西伯郡大篠津村海軍警備隊	
山陰海軍航空隊 新川基地	島根縣簸川郡田西村	同	郵便物發送先 島根縣簸川郡直江郵便局 氣付海軍關野部隊	
横須賀海軍設營隊	神奈川県三浦郡葉山町長柄(横須賀海軍施設部内)	六月五日	海軍電話 横須賀交換 四七番 經出 葉山局 二六七番	

○正誤  
本年六月十四日秘海軍公報六四七頁下欄第十條ノ三第一項第一號、第二號及第三號中「航空關係ノ」及同條第二項ハ執七衍



秘

# 海軍公報 第五〇五二號

○令 達

官房教機密第三三四號

海軍豫備學生教育綱領中左ノ通改正ス

昭和二十年六月二十四日

海軍大臣 臣

第十二條中「哨戒長」ノ下ニ「又ハ水中特攻初級士官」ヲ加ヘ「之」ヲ「豫備學生ヲ潜水艦班及特攻班ニ分子各班ニ於テ」ニ改メ教科目表ノ前ニ「一潜水艦班」ヲ加ヘ同條第二號トシテ左ノ如ク加フ

二 特攻班

科	日	項	日	記	事
潜水術		潜水法一般 諸管装置(造船學ヲ含ム)			
航海術		航海性ノ涵養 航海法、氣象見張法 航海兵器ノ航行法 海流、潮汐			
通信術		通信ノ概念 通水、兵器 送受信訓練、通話訓練 受信訓練、通話訓練			
水雷術		魚雷發射管 發射法			

秘海軍公報 第五〇五二號 昭和二十年六月二十五日

昭和二十年六月二十五日

海軍大臣 閣下

佐 20 房 6

科 補	科					
	衛生	體育	戰術要務	内火術	電機術	運用應急術
衛生	海軍衛生一般、救急法	武技、體技、體操	基本戰術一般、職務 勤務ニ必要ナル諸法見及要務	燃料、油、取扱法 燃料、油、取扱法 燃料、油、取扱法	充電法 同電法 取扱法	運用應急術 應急術一般
				内火機關ノ概念 銃及海龍關係機一般、運動法 燃料、油、取扱法 燃料、油、取扱法	發龍機、電動機、蓄電池一般 發龍機、電動機、蓄電池一般	製法ノ概念 製法ノ概念 製法ノ概念

官房需第一〇二號  
昭和十二年官房第四八五號中第二項ヲ削ル  
昭和二十年六月二十四日

海軍大臣 臣

(參照) 昭和十二年九月二十日海軍公報(海軍葬儀施行ノ際參列遺族ニ糧食ヲ給與シタル場合通報ノ件)

六九七

〇 通 牒

軍務一機密第五二四號

昭和二十年六月二十四日

海軍省軍務局長

各 廳 長 殿

海軍制式軍刀整備竝ニ頒布ニ關スル件申進  
時局ニ鑑ミ海軍制式軍刀急速増産竝ニ頒布ノ圓滑ヲ期スル爲自  
今之方生産竝ニ配給ハ左記ニ依リ處理スルコトニ相成候條可然  
取計相成度

追テ昭和十八年十月十二日軍務一第一九六號、昭和十九年官  
房軍機密第八八號、昭和十九年十月十二日軍務一機密第九七  
三號ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

一 機 構 竝ニ任務分擔

各 管 領 區	地 域 分 擔	
	全 般	統 制 主 務 廳
鎮 守 府	軍 務 局	生 産 主 務 廳
横、吳、佐、舞工廠	艦 政 本 部	配 給 主 務 廳
各 鎮 守 府 工 廠 及 經 理 部	各 鎮 守 府 工 廠	各 鎮 守 府 經 理 部

(イ) 軍務局、軍需局及艦政本部ハ全般ノ計圖竝ニ統制ニ任ズ  
(ロ) 各鎮守府、工廠及經理部ハ各鎮守府ニ於ケル實行機關トス

二 生 産

(イ) 生産量ハ其ノ都度大臣訓令ニ依リ各鎮守府官ニ示達セラレ  
各工廠ハ附屬工場ヲ設ケ又ハ民間組合等ヲ結成之ヲ利用  
スルコトヲ得

(ハ) 天照山鍛錬場ハ主トシテ横濱管區ノ作刀ヲ擔當スルモノ  
トス

(ホ) 刀身材料ハ不銹鋼ノ外ニ炭素鋼ヲ用フルコトヲ得  
略式外装ヲ採用ス(昭和二十年三月二十九日達第五四號  
參照)

(ト) 量産ノ爲刀身ノ形状寸法ヲ單一トスルコトトス  
刀袋ノ製作ハ一切之ヲ停止ス

三 配 給

(イ) 軍需局ハ配給、價格竝ニ販賣ノ統制ヲ行ヒ之ガ實行ハ左  
ニ依ル

(一) 大口需要廳ハ所管鎮守府、水交社ニ發註スルモノトシ  
各經理部ハ軍需局ト連絡ノ上之ガ配給ヲ統制ス

(二) 小口販賣ハ各地方水交社ヲシテ實施セシメ各經理部之  
ガ配給ヲ統制ス

(三) 價格ハ現狀通トスルモ狀況ニ依リ若干ノ變更ヲ爲スコ  
トヲ得

(ロ) 代金ハ大口需要ニ在リテハ各需要廳ヨリ小口需要ニ在リ  
テハ各地水交社ニテ取總メ鎮守府所在地ノ水交社ニ拂込ム  
モノトス

軍需生産機密第一號ノ二三八

昭和二十年六月二十四日

海軍省軍務局長  
海軍省軍需局長

各領守府參謀長  
各警備府參謀長  
海軍總隊參謀長  
殿

主要海軍基地糧食自活體制緊急整備ニ關スル  
件通牒

官房需機密第二〇九號ヲ以テ首題訓令發布セラレ候處本件ハ本土邀撃態勢ニ即應シ軍官民ノ總力ヲ結集シ最モ重要ト認ムル地域ノ食糧確保ヲ圖ラントスルモノニ有之其ノ實施ニ當リテハ部内糧食生産推進委員會之方企畫推進ニ任ジ左記ニ依リ速ニ所期ノ目的ヲ達成スル様配意相成度

記

第一 生産地域

- 一 生産地域ハ作戰ノ要請ニ基キ主要基地ノ周邊及其ノ背後地ニ之ヲ求メ緩急順位ニ則リ之ヲ設定スルコト
- 二 生産地域ノ設定ニ當ツテハ地方事情ヲ勘案シ不用ノ廢擦ヲ生ゼシメザル様特ニ留意スルコト

第二 土地

- 一 土地ニ關シテハ休耕地ノ活用ト燒畑開墾ヲ併セ行フコトトシ速ニ地方長官ト協議ヲ遂グルコト
- 二 主要基地周邊ノ既耕地ニ於テハ豫メ防空對策等ノ措置ヲ講ジ極力農民耕作ノ維持ニカムルコト

第三 生産目標

生産目標ハ彙ニ官房需機密第五五號ヲ以テ訓令ノ部内糧食生

産ヲ更ニ擴充スルノ外  
一 米麥ノ取得又ハ集積困難ナル基地ニ在リテハ其ノ背後ニ適地ヲ選ビ雜穀類ノ生産ニ重點ヲ置クコト

二 山野菜ハ周邊ノ農家ニ種苗肥料其ノ他ノ資材ヲ斡旋又ハ供給シテ生産力ノ培養ヲ努メ以テ回滑ナル供出ニ資シ尙要スレバ農場の生産ヲ實施シ更ニ山野草等ノ蒐集利用ヲ圖ルコト

三 蛋白質源トシテハ極力畜水産物ノ生産確保ニ努ムルト共ニ野島昆蟲其ノ他泥鰌、田螺等ノ末ニ至ルマデ之方積極的利用ヲ圖ルコト

第四 國民義勇隊組織ノ活用

國民義勇隊組織ノ活用ニ關シテハ地方總監府ト協議ノ上隊員ノ盛リ上ル熱意ヲ結集セシメ以テ軍官民一體ノ實ヲ舉ゲシムル如ク特ニ留意シ必要アル場合ハ連絡士官ヲ派遣スルモノトス  
尙當該市町村又ハ職域國民義勇隊ノ指導者及技術者ハ所定ノ手續ヲ經テ之ヲ海軍囑託トスルコトヲ得

經契機密第一號

昭和二十年四月一日

海軍省經理局長

關係特設海軍經理部長  
關係艦隊學校主計長  
戰地用酒保物品取得計畫ニ關スル件通牒

秘海軍公報 第五〇五二號 昭和二十年六月二十五日

六九九

昭和二十年官房機密第一九三號戰地用酒保物品取扱手續第三條ニ依ル昭和二十年度間ノ戰地用酒保物品取得計畫ヲ左ノ通定

契約擔當部名	金額	摘要
海軍省 經理局	三六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	海軍省 經理局 統制契約品 (別表第一)ノ取得
横須賀海軍 經理部	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
吳海軍 經理部	二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
佐世保海軍 經理部	一、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
舞鶴海軍 經理部	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
大湊海軍 經理部	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
大阪海軍 經理部	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	別表第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
在外地海軍 經理部		別表第一及第二中所在地ニ於テ調達スルヲ適當トスルモノノ取得
特設海軍 經理部	一六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	金額ハ別表第一中所在地ニ於テ調達スルモノノ取得
艦船部隊其ノ他各部		金額ハ別表第一中所在地ニ於テ調達スルモノノ取得
合計	六〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	

(別表添)

備 一 海軍 經理部 支那及特設海軍 經理部ニ於ケル取得ニ關シテハ 當該所屬海軍 經理部長又ハ特設海軍 經理部長ノ指示スル所ニ 依ルモノトス  
考 二 軍票使用地域以外ノ支那及南方甲地域ニ對スル金額ハ内地 基準額ヲ以テ表示セリ

經契約機密第二號  
昭和二十年六月二十日  
關係各廳長殿  
海軍省 經理局長  
戰地用酒保物品取得ニ關スル件照會  
昭和二十年官房機密第一九三號戰地用酒保物品取扱手續第三條ニ依リ現在在庫品ハ六月末日迄ニ戰地用酒保物品へ買取方取計相成度

○ 雜 款

○ 事務開始

事務所名	設置場所	事務開始日	記 事
西海海軍航空隊	長崎縣大村市竹	五月五日	五月五日解散
海軍新部隊大村	本局 大村市		
海軍新部隊大村	本局 大村市		
横須賀海軍運輸部	神奈川縣高座郡	五月二日	電話 高座工廠交換 七番
第三陸上輸送隊	大和町 高座海軍	五月二日	電話 高座工廠交換 七番
船艇警戒部敦賀	敦賀市津内石橋	六月一日	郵便物發送先 横須賀市第二海軍航空隊 補給部内海軍小野部隊
第十一海軍航空	敦賀市津内石橋	同	
廣岩國支廠	山口縣廣國市	六月七日	
波瀲第二八八滑	佐世保海軍工廠	六月三日	電話 工廠内士官室 五三七六番

○ 本日海軍公報發行セズ

(經製機密第一號別表第一)

一 煙草

朝日

響

光

鸚

金

ほ

二 飲物類

清酒

麥酒

雜酒

サイ

イ

ダ

酒

酒

酒

酒

酒

酒

酒

酒

酒

酒

三 食物類

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

四 日用品類

靴

手袋

手拭

襪

カク

洗濯

浴用

固形

粉末

衛生

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

紙

(昭和三十年六月二十五日秘海軍公報)

(經製機密第一號別表第二)

一 飲食物類  
嗜好食品類

二 日用品類

洗滌用品類  
齒粉 齒刷  
靴磨 靴刷  
鉛筆 鉛筆  
紙類 紙類  
封筒 封筒  
手帳 手帳  
イ  
ン  
ク

備考

本表品名以外ノモノヲ必要トスルトキハ其ノ都度協議スルモノトス

消 墨 墨 視 靴 運 シ ス 帽 半 べ  
下 止 止 止 止 止 止 止 止  
汁 石 メ 靴 ツ シ 殺 布 軸 尖

(昭和二十年六月二十五日秘海軍公報)

秘

海軍公報 第五〇五三號

○令 達

内令第五二九號 (軍機秘海軍公報第一五四號(乙配付)ニ掲載)

内令第五三〇號

敷設艇 神 島

本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

内令第五三一號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

驅逐艦、一不知火型ノ項中「濱風」ヲ削ル

潜水艦、一等伊十七型ノ項中「伊號第四十四」ヲ、同伊五十四型ノ項中「伊號第五十六」ヲ、同二等呂三十五型ノ項中「呂

號第四十六」ヲ、同「呂百型」呂號第百九」ヲ削ル

掃海艇、第十九號型ノ項中「第三十四號」ヲ削ル

(内令提要卷三、三六頁参照)

海軍公報 第五〇五三號

昭和二十年六月二十六日

昭和二十年六月二十六日

海軍大臣 臣

内令第五三三號

昭和十八年内令第二二三號航空兵器供給所ノ名稱及所在地中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

第二海軍航空廠鈴鹿支廠豊橋補給工場ノ所在地

愛知縣深見郡老津村

愛知縣豊橋市大山町

ニ改メ

航空兵器供給所ノ名稱

第十二海軍航空廠宮崎補給工場

第十二海軍航空廠宮崎補給工場

ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ二四ノ二頁参照)

内令第五三三號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

房 6 受

2432

七〇一

第二條第二號中「特設練習戰隊」ノ次ニ「特設掃海防備戰隊」ヲ加フ

第十一章ノ九ヲ第十一章ノ十トシ第四十九條ノ三十四ヲ第四十九條ノ四十トシ以下第四十九條ノ三十九迄順次繰下グ  
第四十九條ノ三十三ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第十一章ノ九 特設掃海防備戰隊

第四十九條ノ三十四 特設掃海防備戰隊ハ戰時ニ際シ防備隊、掃海隊其ノ他ノ艦艇等ヲ以テ之ヲ編成ス

第四十九條ノ三十五 特設掃海防備戰隊ハ第八一戰隊、第八二戰隊等ト呼稱ス

第四十九條ノ三十六 特設掃海防備戰隊ニ司令官ヲ置ク

司令官ハ鎮守府、警備府、商港警備府又ハ艦隊ノ司令長官ニ隸シ部下ノ艦船部隊ヲ指揮統率ス

第四十九條ノ三十七 司令官ハ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ擔任海域内ノ機雷ノ監視及掃海並ニ局地ニ於ケル航路ノ指示、管制等ヲ掌ル

第四十九條ノ三十八 司令官ハ所屬長官ノ承認ヲ受ケ自己ノ旗艦又ハ司令部ヲ置ク部隊若ハ地ヲ定ムベシ

前項ノ場合ニ於テハ司令官ハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スベシ

第四十九條ノ三十九 司令官ノ幕僚トシテ參謀ヲ置ク

參謀ハ司令官ノ命ヲ承ケ服務ス  
第四十九條ノ四十 防備戰隊令第七條、第十一條及第十二條

並ニ艦隊令第七條、第十二條、第十六條乃至第十九條、第二十六條、第三十四條ノ三、第四十三條、第四十四條第一項及第四十五條ノ規定ハ特設掃海防備戰隊ニ之ヲ準用ス  
(内令提要卷一、四七頁參照)

内令第五三四號

船舶ニ依ル運輸及揚搭ノ實施ニ關シ指揮ノ件左ノ通定メラル

昭和二十年六月十日

海軍大臣

大東亞戰爭中海軍運輸部長ハ海運總監ノ定ムル所ニ依リ特設艦船ニ非ザル船舶ニ依ル運輸及揚搭ノ實施ニ關シ船舶司令官ノ指揮ヲ承ク

内令第五三五號

昭和十六年内令第三〇七號海軍工廠ニ置ク所要ノ部ノ件中左ノ通改正セラル

昭和二十年六月十日

海軍大臣

舞鶴海軍工廠ノ項中「造機部、」ノ下ニ「潜水艦部、」ヲ加フ  
(内令提要卷一、三〇ノ二ノ四頁參照)

内令第五三六號

海軍工廠處務規程中左ノ通改正ス



昭和二十年六月十日

海軍大臣

第十八條第二號中「潜水艦」ノ下ニ「及水中特種兵器」ヲ加フ  
同條第二號中「潜水艦」ノ下ニ「及水中特種兵器」ヲ加ヘ但書  
ヲ削ル

(内令要卷一、三〇ノ二頁参照)

内令第五三七號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改  
正セラル

昭和二十年六月十日

海軍大臣

佐世保鎮守府所管第一南遣艦隊ノ部中第一海軍航空廠ノ項ヲ  
削リ同部ノ次ニ左ノ如ク加フ

第十方面艦隊 第一百海軍航空廠 昭南島

吳鎮守府所管第二南遣艦隊ノ部中第二海軍航空廠ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、三八ノ三八頁参照)

内令兵第二八號

昭和十七年内令兵第八三號ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年六月二十三日

秘海軍公報 第五〇五三號 昭和二十年六月二十六日

(参照) 昭和十七年内令兵第八三號ハ「航空發働機審査規則」制定  
ノ件ナリ

○ 雜 款

○ 書類送付ノ件

五月十日以降山田灣基地ニ於ケル第一掃海隊各所掌事項ハ當隊  
ニ於テ引繼クコトナ相成候ニ付關係書類ハ從來通左記宛送付相  
成度

記

岩手縣下閉伊郡山田町 海軍事務所

(女川防備隊山田派遣隊)

○ 事務開始

事務所名	設置場所	事務開始 月日	記
第五百一十二設隊	愛媛縣伊豫郡同 田村(松前郵便 局)城部隊	六月一日	六月一日上記ノ場所ニ轉出
第五百三十四設隊	舞鶴市宇公文部 第一教導施設班 内	同	
第五百八十二設隊	兵庫縣有馬郡廣 野村	六月五日	郵便物發送先 兵庫縣有馬郡有馬村廣野 局 六月四日上記ノ場所ニ進駐
第五百七十一設隊	第二千歳航空基 地内	六月五日	郵便物發送先 北海道士郎郡千歳郵便局 氣付ウ六二七

七〇三

第五百十六設營 吳海軍施設部内 六月七日 郵便物發送先 吳海軍施設部氣付田中部

○兵員赴任先ノ件

自今當部並ニ新編成設營隊ニ轉勤ノ兵員ハ總テ左記ヘ赴任ノコトニ取計ヲ得度

記

吳市廣町兩谷

吳海軍施設部教導設營班(坂下部隊)(吳線廣驛下車)

(吳海軍施設部)

○旅行順路

自今當部ヘノ赴任其ノ他ノ來部者ハ左ノ順序ニ依ラレ度

佐世保線大塔驛下車

追テ大塔驛ニ停車セザル列車モ有之候條留意シレ度

(佐世保海軍施設部)

○本日軍極秘海軍公報第一五三號及同第一五四號(孰モ乙配付)發行セリ

第一五三號配付先

關係各司令部、橫須賀、吳、佐世保、舞鶴各海軍人事部、橫須賀、吳、舞鶴各海軍工廠、母島警備隊、關東、近畿、中國、九州各海軍監督官事務所、關係各學校

第一五四號配付先

各司令部、各航空隊、各航空廠、同支廠、第一海軍技術廠同支廠

秘

# 海軍公報 第五〇五四號

昭和二十年六月二十七日(水)  
海軍大臣 官房

## ○令 達

内令第五三八號  
昭和十五年内令第六四六號特設海軍工作部等ノ所掌區分等ヲ定ムルノ件申左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

第百一海軍航空廠乃至第百八海軍航空廠ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第百四海軍航空廠	所屬艦隊其ノ他各部ノ航空兵器ノ造修、購買、準備、保管及供給ニ關スル事項
第百八海軍航空廠	
第百十海軍航空廠	

第百四海軍建設部カイマナ支部乃至第百四海軍建設部ソロン支部ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第百十海軍航空廠	スラバヤ	所在地方面各部ノ航空兵器ノ造修、保管及供給ニ關スル事項
第百一海軍航空廠	西貢	所在地方面各部ノ航空兵器ノ造修、保管及供給ニ關スル事項

第百一海軍航空廠マカツサル分工場及第百一海軍航空廠ケンダリ一分工場ノ各項目「第百一海軍航空廠」ヲ「第百十海軍航空廠」ニ改ム

第百一海軍航空廠クーパー分工場乃至第百一海軍航空廠ラング

秘海軍公報 第五〇五四號 昭和二十年六月二十七日

一分工場ノ各項目ヲ削ル  
第百一海軍航空廠ベナン分工場乃至第百一海軍航空廠ケンダリ一分工場ノ各項目「第百一海軍航空廠」ヲ「第百十海軍航空廠」ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ五〇頁参照)

内令第五三九號

昭和十八年内令第二二五九號海軍運輸部ノ支部ヲ置ク等ノ件中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣 臣

別表中

釜山支部	釜山
元山支部	元山



(内令提要卷一、三八ノ七〇頁参照)

内令第五四〇號  
海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セラル

七〇五

昭和二十年六月十日

海軍大臣

横須賀鎮守府ノ部中第七二三海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第七二三海軍航空隊

横須賀航空基地(神奈川県横須賀市)

佐世保鎮守府ノ部中九州海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

朝鮮海軍航空隊

釜山航空基地(朝鮮慶尚南道金海郡)

(内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)

内令第五四一號

昭和十八年内令第一二號航空基地管理ニ關スル件申左ノ通改正ス

昭和二十年六月十日

海軍大臣

舞鶴航空基地乃至旅順航空基地ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

釜山航空基地	朝鮮海軍航空隊
光州航空基地	
迎日航空基地	
平津航空基地	
鴨津航空基地	

(内令提要卷一、三〇ノ四二頁参照)

内令第五四二號

特設艦船部隊申左ノ通改正セラル

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

第二條第二號中「特設氣象隊」ノ次ニ「特設開發隊」ヲ加フ

第七十一條ノ九ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第十七章ノ三 特設開發隊

第七十一條ノ十 特設開發隊ハ必要ノ場所ニ之ヲ置キ其開發隊

(所在地名ヲ冠ス)又ハ第一開發隊、第二開發隊等ト呼稱ス

第七十一條ノ十一 特設開發隊ハ海軍所要礦等ノ開發ニ關スル

コトヲ掌ル

第七十一條ノ十二 特設開發隊ニ左ノ職員ヲ置ク

隊長

支隊長

隊附

第七十一條ノ十三 隊長ハ所屬長官ニ隸シ隊務ヲ總理ス

第七十一條ノ十四 隊長缺員中又ハ事故アルトキハ部下ノ軍人

席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第七十一條ノ十五 支隊長ハ隊長ノ命ヲ承ケ特設開發隊ノ隊務

ヲ分掌ス

第七十一條ノ十六 隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

(内令提要卷一、六〇ノ七頁参照)

官房軍機密第六〇六號

亞號委員會規程中左ノ通改正ス

昭和二十年六月二十五日

海軍大臣

別表委員ノ欄中第一海軍燃料廠部員「五」ヲ「六」ニ改ム

(内令提要卷一、三〇ノ五二ノ六頁参照)

官房機密第一七〇七號

一 大東亞戰爭中兵器經理規程第二十五條第一項但書ノ適用ヲ廢止ス

二 大東亞戰爭中兵備品出納命令官ハ兵器經理規程ノ規定ニ拘ラス修理不調ト決定シタル兵器又ハ同規程別表第三號ニ掲ゲザル兵器ニシテ使用ノ用途ナキモノヲ廢品處分セシムルコトヲ得

昭和二十年六月二十六日

海軍大臣

艦本機密兵航第二〇七號

昭和二十年六月二十六日

海軍艦政本部長

横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大湊、鎮海 海軍軍需部長殿

練習航空隊ニ現供用中ノ左記兵器ハ各二個ヲ殘シ其ノ他ハ還納受スベシ

海軍公報 第五〇五四號

昭和二十年六月二十七日

<p>空盒晴雨計 一型、二型 風速計 改 一</p>		<p>○司令潜水艦變更 第十六潜水隊司令ハ六月十七日司令潜水艦ヲ伊號第三百六十九潜水艦ニ變更セリ</p>		<p>○廳舍部隊移轉</p>	
<p>廳舍、部隊名</p>	<p>移轉先</p>	<p>移轉月日</p>	<p>記 事</p>		
<p>高雄警備府軍法會議</p>	<p>高雄州岡山郡小岡山洞窟内</p>	<p>五月六日</p>	<p>部隊番號ヲ海五九〇六部 隊ト稱ス 郵便物發送先 海五九〇六部隊</p>		
<p>海軍省軍需局特務部</p>	<p>○神奈川縣鎌倉郡大船町大船五三分室</p>	<p>六月一日</p>	<p>郵便物發送先 市二區 大船三 電話 三一、三二番</p>		
<p>佐世保海軍運輸局長時支部長(長崎揚子司令)</p>	<p>長崎市羽衣町九州海運局長時支</p>	<p>六月四日</p>	<p>連格室ヲ海軍省本廳構内ニ設置ス</p>		
<p>海軍航空本部總務部、教育第二部</p>	<p>青森市港北區日三三分室</p>	<p>六月六日</p>	<p>旅行順路 七尾線田鶴濱驛下車陸路 電話 四馬 二三番 郵便物發送先 石川縣鹿島郡田鶴濱局氣付一ウ五四九</p>		
<p>第三百三十六隊陸隊</p>	<p>石川縣鹿島郡相馬村宇伊久留</p>	<p>六月六日</p>	<p>旅行順路 七尾線田鶴濱驛下車陸路 電話 四馬 二三番 郵便物發送先 石川縣鹿島郡田鶴濱局氣付一ウ五四九</p>		

七〇七

○事務開始		事務所名	設置場所	事務開始月	記	事
近畿海軍監督官事務所神戸出張所	納戸六丁目海運局(元税關)内	神戸市生田區加	六月六日			
第二十一陸上輸送隊	福岡市堅粕	福岡市堅粕	六月九日			旅行願路 福岡市吉塚驛下車 郵便物發送先 博多郵便局氣付海軍岡田部隊
徳山防備隊	山口縣徳山市	山口縣徳山市	六月二〇日			徳山海軍港務部ハ本隊ニ改組セラレ残務整理ハ本隊ニ於テ之ヲ行フ
呉防備隊	廣島縣呉市	廣島縣呉市	同			

○轉勤者赴任先  
偵察第三〇二飛行隊へノ轉勤者旅行方法ニ關シ當隊宛指向セラ  
ルル向有之候處該飛行隊ハ現在福岡縣糸島郡玄海航空基地(舊  
小富士基地)ニ移轉中ニ付自今同飛行隊へノ轉勤者ハ玄海航空  
基地ニ向ケ赴任セシメラレ度  
追テ同飛行隊ノ庶務給與關係事務モ六月一日以降同基地航空  
隊ニ於テ處理ノ事ト相成候條郵便物送達方ニ關シテモ可然處  
理相成度  
(詫間海軍航空隊)

○本日軍極秘海軍公報第一五五號(甲配付)發行セリ

○本日海軍公報發行セズ



# 海軍公報

第五〇五五號

昭和二十年六月二十八日(木)

海軍大臣官房

## ○令 達

内令第四二四號之二

波號第二百五潛水艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和二十年五月十四日

海軍大臣

内令第五四四號(軍極秘海軍公報第一五四號(乙配付)ニ掲載)

内令第五四五號

潛水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

第三十四潛水隊ノ項中「伊號第百六十五」ノ下ニ「伊號第百一」ヲ加フ

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第五四六號

海防隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年六月十五日

秘海軍公報 第五〇五五號 昭和二十年六月二十八日

海軍大臣官房

第十二海防隊ノ項中「第七十一號」ノ下ニ「第七十五號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第五四七號

波號第二百五潛水艦

第二百二十七號海防艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

佐世保鎮守府在籍

第二百二十七號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

内令第五四八號

特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

第一監視艇隊ノ項中「第二驅艇丸」ノ下ニ「第二號東洋丸」

七〇九

2440

あゝ丸、第三松福丸」ヲ加フ  
 第三監視艇隊ノ項中「第五旭丸」ノ下ニ、「第五日吉丸、第二昭榮丸、日向丸、龍蔵丸」ヲ加フ  
 第四監視艇隊ノ項中「第二號東洋丸」、「第五日吉丸」、「第二昭榮丸」、「あゝ丸、龍蔵丸」、「日向丸」、「第三松福丸」及「龍蔵丸」ヲ削ル

(内令提要卷一、一五一頁参照)

内令第五四九號

鎮海警備府在籍

第七十一號驅潛特務艇  
 第二百四十八號驅潛特務艇  
 第二百四十九號驅潛特務艇  
 第二百五十號驅潛特務艇  
 右本籍ヲ佐世保鎮守府ニ改ム

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

内令第五五〇號

昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第七十一號(鎮)」及「第二百

四十八號(鎮)、第二百四十九號(鎮)、第二百五十號(鎮)」ヲ削ル  
 高雄海軍警備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

對馬警備隊

第七十一號(佐)
第二百四十八號(佐)
第二百四十九號(佐)
第二百五十號(佐)

(内令提要卷三、四八ノ一九頁参照)

内令第五五一號

昭和十八年内令第二五六號別表中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十五日

海軍大臣

鎮海防備隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「津蘭丸(佐)」及「久美丸(佐)」ヲ、特設監視艇ノ欄「第二十五日東丸(佐)」ヲ削ル  
 高雄海軍警備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

對馬警備隊

津蘭丸(佐)	第二十五日東丸(佐)
久美丸(佐)	

(内令提要卷三、四八ノ二九頁参照)

内令兵第二九號

昭和十一年内令兵第四五號中左ノ通改正シ昭和二十年五月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和二十年六月二十五日



(二) 呼稱番號區分中

横須賀海軍航空隊	ヨ	フ	横須賀海軍航空隊	ヨ
改メ			館山海軍航空隊	タ
吳海軍航空隊	ク	フ		

海軍大臣

(参照) 前記内令兵ハ航空機番號付與法及其ノ表示方ノ件ナリ  
(内令提要卷三、二二六頁参照)

○ 選 擧

官房人機密第四二五號

昭和二十年六月二十五日

海軍次官

各所屬長官殿

文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員、傭人ニシテ海陸軍ニ召集セラレタル者ノ取扱ニ關スル件申進

首題ノ件左記ニ依リ取計相成度

記

兼務囑託者ヲ除キ特別ノ事情アル者ノ外現職ノ儘應召セシム  
右ニ因リ生ジタル缺員ハ必要缺クベカラザル者ニ限り之ヲ補充  
スルコトヲ得

追テ昭和十二年官房機密第二八五〇號ハ之ヲ廢止ス

秘海軍公報 第五〇五五號 昭和二十年六月二十八日

○ 雜 談

○ 事務開始

事務所名	設置場所	事務開始日	記
釜山港灣警備隊	朝鮮慶尚南道釜山府新天町二丁目三十六番地	五月一日	旅行願路 東海道本線刈谷驛ニテ名古屋鐵道(地方鐵道)三河谷乘換北新川驛(下車)刈谷新川間一〇・八新(刈谷)北新川間五・五新(徳)
第五十三航空戰隊司令部	愛知縣碧海郡明治航空基地内	五月八日	旅行願路 東海道本線刈谷驛ニテ名古屋鐵道(地方鐵道)三河谷乘換北新川驛(下車)刈谷新川間一〇・八新(刈谷)北新川間五・五新(徳)
第一〇〇一海軍航空隊(雁部隊) 福知山派遣隊	京都府天田郡西中筋村	六月一日	旅行願路 東海道本線刈谷驛ニテ名古屋鐵道(地方鐵道)三河谷乘換北新川驛(下車)刈谷新川間一〇・八新(刈谷)北新川間五・五新(徳)
大阪港灣警備隊	大阪府浪速區榮町五丁目	六月五日	旅行願路 東海道本線刈谷驛ニテ名古屋鐵道(地方鐵道)三河谷乘換北新川驛(下車)刈谷新川間一〇・八新(刈谷)北新川間五・五新(徳)
第十一海軍航空隊 大阪補給工場 鳴尾出張所	兵庫縣武庫郡鳴尾村	六月八日	旅行願路 東海道本線刈谷驛ニテ名古屋鐵道(地方鐵道)三河谷乘換北新川驛(下車)刈谷新川間一〇・八新(刈谷)北新川間五・五新(徳)

○ 轉勤者赴任先

自今當隊宛轉勤者ハ左ニ依ラレ度  
北陸本線粟津驛下車 北陸加南線郡谷寺驛下車

(第五三二設替隊)

秘海軍公報 第五〇五五號 昭和二十年六月二十八日

七三二

○本日軍機秘海軍公報第一五六號(乙配付)發行セリ  
配付先

關係各司令部、横須賀、吳、佐世保、舞鶴各海軍人事部、  
吳海軍工廠、關係各學校

○本日海軍公報發行セズ

2443

秘

# 海軍公報

第五〇五六號

昭和二十年六月二十九日(金)

海軍大臣官房

## ○令 達

内令第五四三號

海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セラル

昭和二十年六月十五日

海軍大臣 臣

佐世保鎮守府ノ部中臺灣海軍航空隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

北臺灣海軍航空隊	臺灣新竹新竹市
南臺灣海軍航空隊	臺灣高雄州高雄市

(内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)

内令第五五二號

昭和十三年内令第三四一號地方在勤海軍武官ノ在勤地ニ關スル件中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十五日

海軍大臣 臣

「釧路、」ノ下ニ「船川、」ヲ加フ

(内令提要卷一、一八ノ六頁参照)

内令第五五三號

昭和十六年内令第八二六號中左ノ通改正ス

昭和二十年六月十五日

海軍大臣 臣

「釧路、」ノ下ニ「船川、」ヲ加フ

(参照) (前記内令ハ臨時地方在勤海軍武官ノ配員ニ關スル件ナリ)  
(内令提要別冊八二頁)

官房需第一〇四號

大東亞戰爭中海軍給與令施行細則第百十六條、第百三十條及第百六十三條(第百十六條準用規定)ノ規定ニ依ル申報ハ之ヲ省略スルコトヲ得

昭和二十年六月二十七日

海軍大臣 臣

## ○通 達

教育機密第二七六號

昭和二十年六月二十七日

海軍省教育局長

各鎮守府參謀長殿

教務規程變更ニ關スル件申進

秘海軍公報 第五〇五六號 昭和二十年六月二十九日

七二三

2444

當分ノ間各術科學校規則ノ規定ニ拘ラズ教務規程ノ輕易ナル變  
更ハ海軍大臣ノ承認ヲ要セザルコトニ定メラレ候

教育機密第二七七號

昭和二十年六月二十七日

海軍省教育局長

各鎮守府參謀長  
第十航空艦隊參謀長 殿

卒業式施行期日ニ關スル件申進

當分ノ間卒業式施行手續第二條第二項ノ規定ハ賞品御下賜ノ詮  
議ヲ要スト認ムル者ニ對スル事項ヲ除クノ外之ヲ適用セザルコ  
トニ定メラレ候

○雜 款

○事務開始

事務所名	設置場所	事務開始月日	記 事
第五千十五設營	横浜市戸塚區中 田町須賀海軍 施設部教導營 隊内	五月六日	郵便物發送先 横浜市戸塚區 須賀海軍施設部 教導營隊内ウ七〇參一
第五百十六設營	吳市吳海軍施設 部内	六月一日	
第五百十九設營	同	同	
第五百八十二設 營隊	兵庫縣有馬郡廣 野村	六月五日	郵便物發送先 兵庫縣有馬郡廣野局氣付 海軍第五八二部隊

○本日海軍公報發行セズ

第三千百十六設 營隊	岡山縣吉備郡日 英村	六月五日	郵便物發送先 岡山縣吉備郡日英村美袋
第五千十二設營	横浜市戸塚區中 田町須賀海軍 施設部教導營 隊内	六月六日	
第五千十四設營	同	六月二〇日	
第五千十三設營	横浜市戸塚區便 局氣付桑原部隊	六月三日	

秘

海軍公報 第五〇五七號

昭和二十年六月三十日(七)

令 達

官房機密第一〇三二號

昭和二十年六月二十八日

海軍大臣

關係各長官殿

航空術(飛行機修補)講習ニ關スル件訓令

普通ノ件左記ニ依リ實施スベシ

調 給 主  
給 行 主  
調 給 主

航空隊ニ於ケル修補能力ノ向上ヲ圖ル爲整備科初級士官ノ一部ニ對シ飛行機修補技術ヲ會得セシムルニ在リ  
期日及場所

昭和二十年七月一日ヨリ約一月半 第二相模野海軍航空隊

三 講習員

約三〇名トシ海軍省人事局長ヲシテ通牒セシム

四 講習項目並實施要領

航空隊修補科幹部トシテ必要ナル事項トシ指導官所定トス

五 講習指導官及輔佐官

(イ) 指導官 第二相模野海軍航空隊司令  
輔佐官 第二相模野海軍航空隊職員適宜

(ロ) 指導官 第二相模野海軍航空隊司令  
輔佐官 第二相模野海軍航空隊職員適宜

海軍公報 第五〇五七號 昭和二十年六月三十日

六 經費

請求ヲ俟テ別途配付ス

横須賀海軍航空隊職員適宜

第一海軍技術廠職員適宜

官房機密第二五八號

應急文書交換實施規程左ノ通定ム

昭和二十年六月二十九日

海軍大臣

應急文書交換實施規程

第一條 本規程ハ郵便事務甚シク不同滑ニシテ郵送不適其ノ他

必要ト認ムル場合内地ノ遠距離ニ在ル重要ナル各廳相互間ニ

於テ發受スル文書ノ送達ニ關スルコトヲ規定ス

文書交換取扱主任廳(以下主任廳ト稱ス)區分及重要ナル各

廳(以下甲廳ト稱ス)ヲ別紙第一ノ通定ム

第二條 本規程ノ實施ハ特令ニ依ル但シ所屬長官ハ第六條所定

ノ地域内ニ對シ必要ニ應ジ之ヲ實施スルコトヲ得

實施ノ發令アリタルトキハ當該主任廳ハ速ニ區域内甲廳及他

ノ關係主任廳ニ通報スベシ

第三條 艦船(長期繫泊ノモノヲ除ク)及移動頻繁ナル廳ニ對

シテハ本規程ヲ適用セザルヲ例トス

七一五



2446

第四條 本規程ニ依リ發送スベキ文書(以下文書ト稱ス)ニハ航空郵便、緊急郵便及非常連絡郵便ニ依ルモノヲ含マザルモノトス

第五條 主任廳相互間ニ於ケル文書ノ輸送ハ列車、航空機又ハ公用使(判任官以上ニ限ル)便ニ依ル

列車ニ依ル場合ハ豫メ之ヲ指定シ相互ニ通知ノ上指定ノ驛ニ於テ着車ト同時ニ受領スル如ク措置スルモノトス

航空機或ハ公用使ニ依ル場合モ努メテ前項ニ準ズル措置ヲ採ルモノトス

第六條 主任廳ハ別紙第一ニ規定スル地域(以下受持地域ト稱ス)内ニ在ル廳、部外官廳、會社等ニ宛テタル文書發送ノ責ニ任ズルモノトス

主任廳前項ノ文書ノ發送ニ當リテハ成ルベク郵便ニ依ルコトヲ公用使便、電話(親展及極秘以上ノ書類ヲ除ク)等ヲ利用シ速達ニ努ムルモノトス

第七條 主任廳ハ受持地域内ノ甲廳以外ノ各廳、會社等ノ文書ニシテ特ニ必要ト認メタルモノハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フコトヲ得

第八條 送達文書ノ封皮ニハ必ズ(應)ト朱書シ送達先ノ主任廳ヲ經山スル如ク肩書スルモノトス

(例) 横須賀鎮守府經山 横須賀海軍人事奉行

第九條 送達文書接受ノ認印ハ之ヲ行ハズ特ニ重要ナル文書ニ限リ別紙第二様式ノ付箋ヲ附シ(封筒外面ニ貼附)之ヲ確達

ヲ期スルモノトス

第十條 文書ノ發送、閱覽等ニ關シ主任廳ハ發布廳ニ準ジ受持地域内ノ各廳(第三條所定ノ艦船及廳ヲ含ム)ニ對シ便宜ヲ供與スルモノトス之ヲ爲重要ナル文書ハ發布廳ニ於テ所要ノ寫ヲ關係主任廳ニ送付スルコトヲ得

第十一條 主任廳ハ本規程ニ依ル文書ノ授受ニ關シ細目ヲ定メ之ヲ實施スルモノトス

第十二條 主任廳ハ受持地域内ニ於ケル甲廳等移動シタルトキハ他ノ主任廳ニ成ルベク速ニ其ノ旨通報スルト共ニ之ニ宛テタル文書到達セルトキハ當該主任廳ニ之ヲ轉送スベシ(別紙添)

○ 通 牒

官房經機密第三九一號

昭和二十年六月二十八日

海軍 次 官

關係各廳長殿

外食制度ニ關スル件通牒

國內食糧需給事情ニ鑑ミ從來家庭用以外ニ供給ノ業務用主要食糧ノ供給ヲ停止シ外食券制度ノ整備ヲ實施セラルル處軍人軍屬旅行者ニ對シテハ特ニ其ノ任務達成ノ迅速ヲ期スル爲軍需局長、經理局長連名ヲ以テ通牒ノ如ク實施スルコトトナレルモ尙旅行者ニ對シテハ不便尠カラズト認メラルルモ現下眞ニ己ムヲ

得ザル措置ナルヲ以テ之ガ取扱ニ關シテハ二重配給等ニ陥ルコトナキ様其ノ趣旨達成ニ遺憾ナキヲ期セラレ度

軍務一機密第五〇號

昭和二十年六月二十八日

海軍省軍務局長

海軍總隊參謀長  
各鎮守府、警備府參謀長  
海軍艦政本部長

新造艦船ノ出動諸公試、諸試驗實施ニ關スル件申進

新造艦船ニシテ工事完了セルニ拘ラズ敵機雷敷設等ノ爲附近海面ニ於ケル出動諸公試、諸試驗ノ實施困難ナル場合ハ左記ノ通處理セラレ度内意ニ付可然取計相成度

記

一 建造所港灣掃海水道啓開次第附近安全海面又ハ本籍軍港、訓練地等ニ回航ノ途次適宜ノ海面ニ於テ諸公試、諸試驗ヲ完了シタル後授受ヲ行フ

二 本籍地又ハ訓練地等ニ回航後ニ於テ猶未済ノ諸公試、諸試驗アル場合要スレバ艦船造修規則第九十八條及第百條並ニ兵器造修規則第五十九條ノ規定ニ依リ之ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ委託ス

三 前號ノ未済諸公試、諸試驗當分實施ノ見込ナキ場合ハ其ノ儘授受ヲ行ヒ所定ノ手續ヲ爲スト共ニ海軍工廠長又ハ海軍監督長ハ其ノ狀況ヲ當該艦船ノ所屬長官ニ通知ス

勅海軍公報 第五〇五七號 昭和二十年六月三十日

四 前號ノ通知ヲ受ケタル艦船ノ所屬長官ハ時機ヲ得次第最寄。海軍工作廳等ノ協力ヲ得テ艦船造修規則及兵器造修規則ノ規定ニ準ジ必要ト認ムル諸公試、諸試驗ヲ實施セシメ其ノ成績ヲ海軍大臣ニ報告スルト共ニ艦船ノ本籍及建造所ノ所屬各鎮守府司令長官ニ通知ス

契九機密第三號

昭和二十年六月二十八日

海軍省軍需局長  
海軍省經理局長

關係各廳長殿

外食券ニ關スル件通牒

今回主要糧食品配給制度改正ニ伴ヒ外食券制度整備セラレタル處軍人軍屬ノ旅行者ニ關シテハ特ニ左記ニ依ルコト相成候條了知相成度

記

一 在内地各廳勤務者

(イ) 公務ニ依ル軍人軍屬旅行者(以下旅行者ト稱ス)ニ對シテハ出發廳ニ於テ旅行者用外食券ヲ、之ヲ適用期間ヲ經過シテ旅行スルモノニ對シテハ其ノ超過日數ニ對シ(特)旅行者用外食券ヲ其ノ旅行日數ニ應ジ交付スルコトヲ得

(ロ) 前號ノ各種旅行者用外食券ハ各地方長官ニ於テ之ヲ調整シ海軍省經理局、海軍經理部又ハ海軍經理部支部ハ海軍省經理局ノ制當ニ依リ之ヲ最寄地方長官ヨリ受込準備スルモノトス

七一七

東京所在各廳ハ海軍省經理局ヨリ其ノ他ノ各廳ハ最寄ノ海軍經理部又ハ海軍經理部支部ヨリ之ヲ交付ヲ受クルモノトス

(ハ) 艦船部隊學校病院(學校病院ニ在リテハ海軍給與令第八十條第二號及第四號該當ノ者)ニ在リテハ毎月頭所要數ヲ豫定シテ受込ミ置キ旅行者外食券裏面ニ所轄名記入捺印ノ上之ヲ交付スルモノトス

(ニ) (ハ)號以外ノ各廳ニ在リテハ別ニ定ムル指定數ヲ受込ミ置キ旅行者用外食券裏面ニ所轄名記入捺印ノ上旅行者外食券ヲ自ラ準備スルコト能ハザル旅行者ニ貸與シ其ノ歸着後其ノ所有スル主要食糧配給通帳ニ依リ旅行者外食券又ハ(特)旅行者外食券ノ交付ヲ受ケテ之ヲ返却セシメ循環運用スルモノトス

(ホ) 關係各廳ハ其ノ保有スル各旅行者用外食券ノ有効期間ニ留意シ期間經過ノモノハ遲滞ナク(ロ)號第二項ノ區分ニ依リ海軍省經理局、海軍經理部又ハ海軍經理部支部ニ於テ交換シ海軍省經理局、海軍經理部及海軍經理部支部ハ都道府縣廳ニ於テ交換ヲ受クルモノトス

(ヘ) 關係各廳長ハ旅行者外食券取扱主務者ヲ指定シ之ヲ出納保管ヲ爲サシムルモノトス

(ト) 海軍省經理局、海軍經理部及同支部ニ在リテハ毎月其ノ前月中ニ於ケル(ハ)號關係廳ノ旅行者用外食券使用數量ヲ取經メ之ヲ海軍省軍需局ニ通報スルモノトス

二 在外地勤務者

(イ) 外地ヨリノ旅行者ハ關係所轄長又ハ最寄在勤武官ノ旅行證明書(別表書式)ニ依リ最寄ノ到達地都道府縣廳(關釜連絡船博釜連絡船又ハ船舶到達港到着飛行場等ニ於テ處理ス)又ハ川務廳ニ於テ一號(イ)號ニ準ジ交付ヲ受クルモノトス

(ロ) 關係各廳前號ニ依リ旅行者用外食券ヲ交付セルトキハ毎月末旅行證明書寫ヲ添ヘテ海軍省經理局、海軍經理部又ハ海軍經理部支部ニ要求シ海軍省經理局、海軍經理部及海軍經理部支部ハ旅行證明書寫ヲ引換ニ都道府縣廳ヨリ立替外食券ヲ受込補充スルモノトス

(別表添)



(官房機密第二五八號別紙第一)

(昭和二十年六月三十日海軍公報)

考 備	海軍大臣 官房	海軍省	第一	甲 應 受 持 地 域
	各鎮守府 各警備府	海軍省 (海軍大臣官房)	第二	
	各司令部ノ定ムル所ニ依ル	海軍省大構内各應 (東京都區外ニ在ルモノヲ除ク但シ 横濱市港北區ニ在ルモノヲ含ム)	第三	
	警備區ノ陸上區劃ニ同シ (東京都ニ於ケル區部及横濱市 港北區ヲ除ク)	東京都區部 横濱市港北區		
一 公用使ニ依ル文書ノ交換ハ第三主任應ヨリ第二(一)主任應ニ、第二主任應ヨリ第一主任應ニ對シ實施スルヲ例トス 二 各鎮守府、警備府ハ要スレバ警備區内遠隔ノ地ニ在ル地方海軍部等地方ノ中樞タルベキ應ニ第三主任應ヲ指定シタルトキハ之ヲ他ノ主任應ニ通報スルモノトス				

2450

票 領 受

摘 製	受 取 入	差 出 人	月	受領者印
			日時刻	

(差出應ニ返付ス)

票 付 送

摘 要	受 取 入	差 出 人	月	差出主任應名
			日時刻	
印者受接				

(到達主任應ニ保管ス)

切 取 線

(官房機密第二五八號別紙第二)

(昭和二十年六月三十日秘海軍公報)

2451

